

その症状、結核かも？！

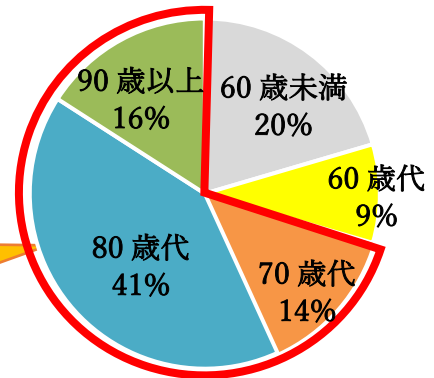


- ◇ 年1回は胸部エックス線検査（肺がん・結核検診等）を受けましょう
- ◇ 長引く咳・痰等がある場合は「結核かも？」と疑い、早めに受診しましょう

結核は、「昔の病気」というイメージを持つ方もおられますが、令和7年には、加古川保健所管内で44人が新たに結核と診断されています。

年齢別にみると70歳以上が約7割と、高齢の方が過半数を占めています。

令和7年結核患者年齢構成



約7割が
70歳以上

結核はどんな病気？

主な症状は2週間以上長引く咳・痰や発熱などです。

結核は咳やくしゃみなどによって結核菌が空気中に飛び散り、周りの人がそれを直接吸い込むことで感染します。

70歳以上の結核患者の特徴

高まん延時代に結核菌に感染し、体の中に残っていた菌により、年齢を重ねたことや免疫力の低下に伴い、発病することがあります。高齢になると症状が出にくいこともあり、長引く食欲低下、倦怠感、体重減少等も結核を疑うサインです。

咳・痰



2週間以上続く症状は

結核

かもしれません

微熱・発熱



体重減少



食欲低下



倦怠感



結核は早期受診・早期発見が大切！薬で治療できます

令和7年に新たに診断された方の約6割は、定期的（年1回程度）に胸部エックス線検査を受けていない方や症状があってもすぐに受診していない方でした。

結核は、毎日きちんと薬を飲めば治る病気ですが、受診・診断が遅れたために病気が進行して重症化すると、治療が困難になることもあります。

年1回は胸部エックス線検査を受け、長引く咳・痰等がある場合は早めに受診しましょう。

